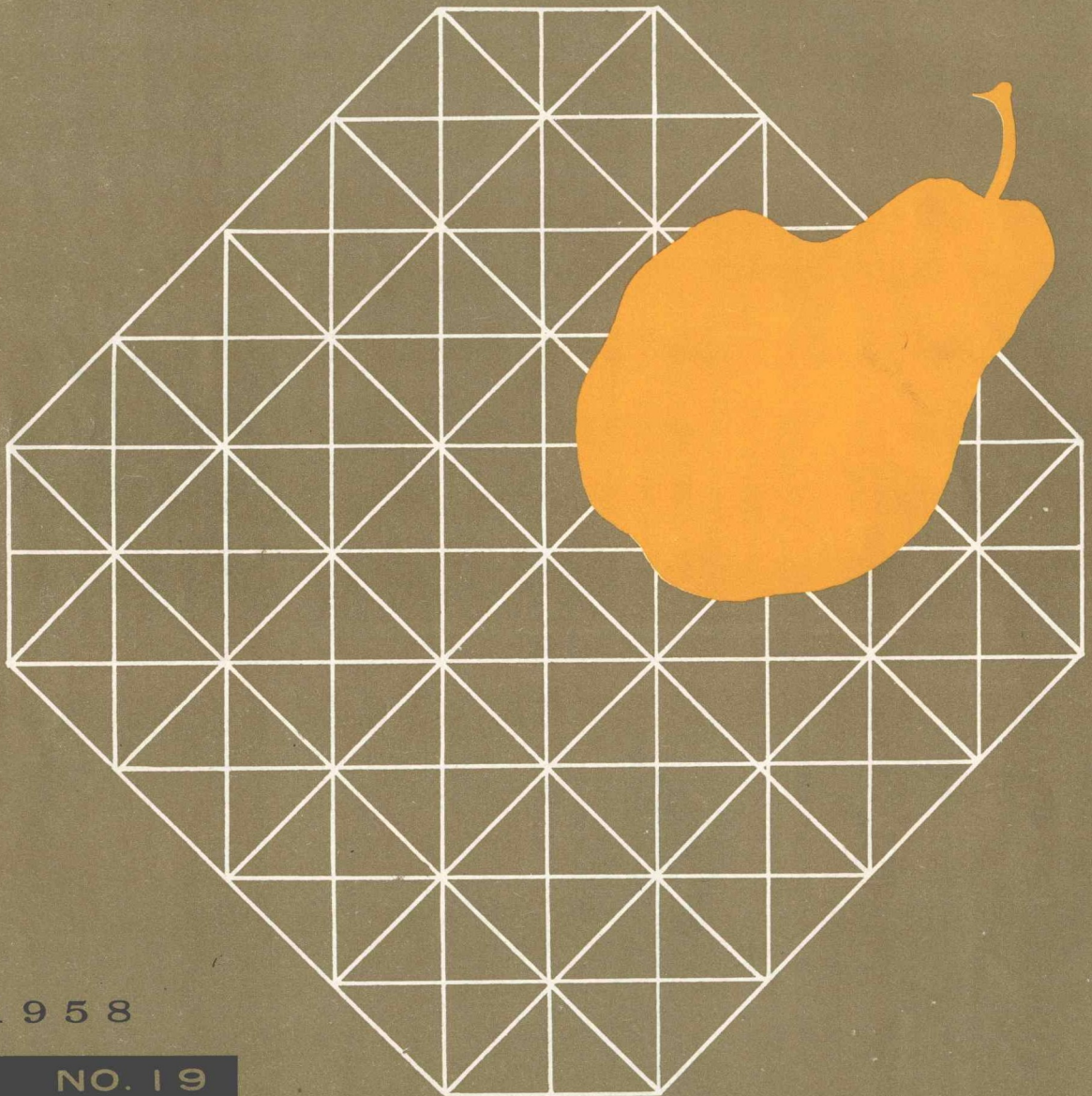


San-ai

三愛會誌

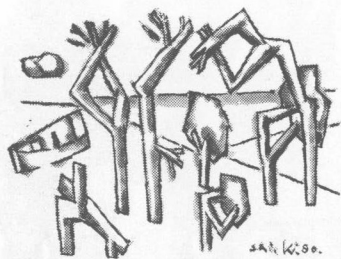


1958

NO. 19



会 長 母 校 に 講 堂 を 寄 贈



■市村会長は、御祖父故市村勝太郎さまの、目にいれてもいたくないような御鐘愛を一身に受けられて幼少年時代をすごされたそうでございます。「その頃のお話をおき、すると如何に祖父様の御愛情が深いものであったかまたそれが会長の御性格にどんなに大きい影響をあたえられたかが忖度できるようだ」と会長の憶い出話を聞いた方がうかがっております。

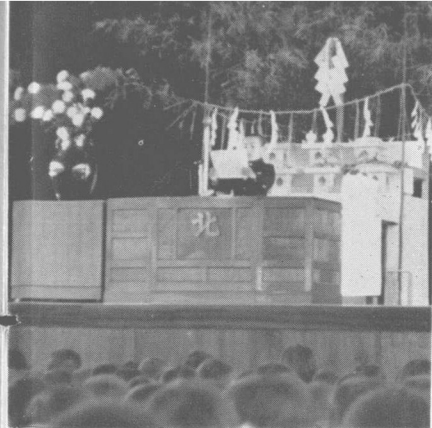
■4月28日、会長は故郷佐賀県北茂安村で、その御祖父様50年忌の御法要を懇にお営みなさいました。

■会長は31年の9号に続く12号と二度もの台風のため、まさに倒壊寸前の危険に瀕したままの、母校北茂安小学校の『講堂』を、将来の日本を背おうべき児童のために、絶対放置できないと、かねてから憂慮され、祖父様の霊を慰めるためにもと、新しい『講堂』の寄贈を宿願されていたそうであります。

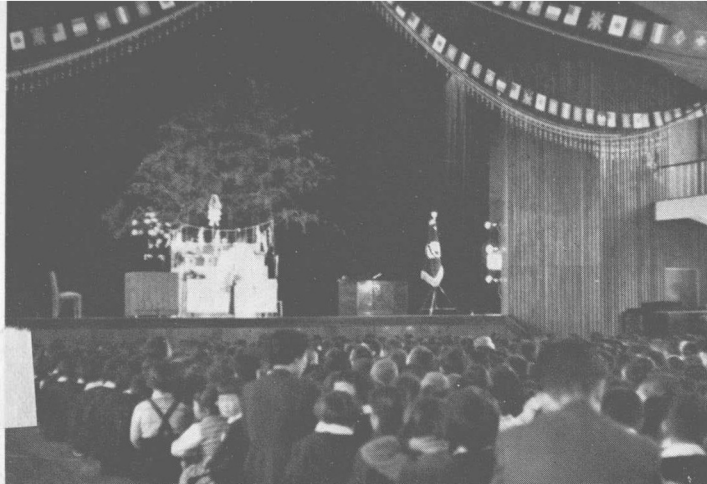
■本年4月、全児童、全村あげて待望の『新講堂』は美事に竣工し、4月29日、天皇御誕生のよき日、母校では会長御夫妻を迎えて盛大な落成式、ついで祝賀会を催しました。

■別掲の児童の作文や手紙によって、会員諸兄姉に当日の盛会をおしのび頂きたいと思っております。どんな名文にも勝って、みな様に心あたたまる感動をあたえるであります。

■あえて子孫に美田を残さず、事業を通じて社会に奉仕するという、固い信念のもとに、“三愛”のスローガンを掲げて日夜御活躍の会長御夫妻の、故郷における、喜びに満ち溢れた村のよき人々に囲まれた、本来のお姿をご覧ください。お二人にとって、これは恐らく近頃「最良の日」のスナップのひとつではないかと存じます。（三愛会 藤井てつ）



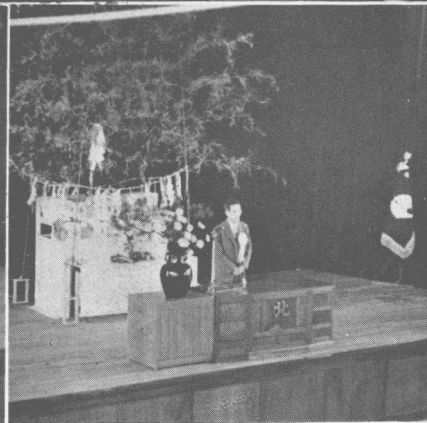
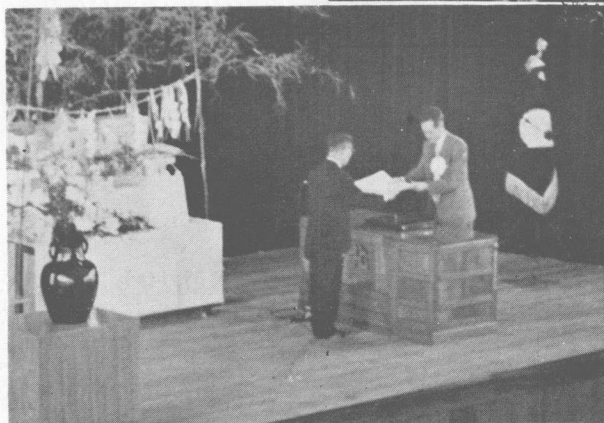
21



(B)

市村会長寄贈
北茂安小学校
講堂落成祝賀

ス
ナ
ツ
プ



(D)



(E)

(F)

- (A) 来賓の各位を感動させた児童代表西村君の感謝文朗読
- (B) おごそかな修祓式
- (C) 校長へ寄贈状贈呈
- (D) 会長ご挨拶に登壇
- (E) 校庭の祝賀場にて
- (F) 喜びの人々と共に
- (G) 会長童心にかえる

(G)



おれいのことば

青葉若葉の今日のよき日に、僕達が待ちに待った市村講堂ができ上り、市村社長様をおむかえして、村をあけての本日の祝賀式に北茂安小学校1470名が参加できました事はうれしくてうれしくて口や筆に言いあらわすことはとうていできません。学校でも部落でも、もう講堂の話で持ちきりです。僕はもうだれにじまんしようもなく二、三日前大阪のしんせきの家に手紙でじまんしてやりました。僕までが何だか急にえらくなつた気持ちで一ぱいです。思いかえせば、一昨年の9号につづいて12号の、二度のたいふうのため大きく北にかたむき丸太ンぼうのつんばりをたくさんうちつけられてたつていた古いあの講堂にずい分心細い思いをしたのもなつかしい取越し苦労の思い出となりました。

吹きさらしの北風にいためつけられながらのお正月の年賀式や、やけつく様な太陽になやまされた夏の日の集会等思い合せますと、市村社長様に何とお礼を申し上げてよいかわかりません。

鉄骨建築というのを、僕は生れて初めて見ました。ニコニコと、空につき出ていた頃の鉄の丈夫な柱は火事

にも地しんにもびくともしないぞと叫んでいるようにでした。村中どこからも見えるかまぼこ型の丸い屋根は、僕達がどこにいても「がんばれがんばれ」と呼びかけている様に見えます。この美しい講堂で、やさしい螢光燈の光をあびながら劇や歌やその他のいろいろの発表会をしたらどんなによいだろうかと思ひます。市村先生本当にありがとうございます。

僕は家の人や、先生や、近所の人達からこんな美しい講堂を建てて下さった市村先生のことについて色々話をしてもらいました。しかしもつともつと知りたくてたまりません。市村先生が、僕達のように、小学生の頃はどんなにしておられたのだろうか。あんなにえらくなられたのだからきつと小学生の頃も人一倍えらいお方だったにちがいない、僕も市村先生のようになりたい、どのくらい勉強しておられたのだろうか。毎日毎日考えています。この間、父と新聞を見ていると、父が大きな広告を示して「このカメラ会社の社長さんが市村先生だ」と教えてくれました。そしてこのカメラは日本中だけでなく、外国にまで有名だと話してくれました。市村先生を生んだ、はすの花の美しく咲く市原部落に生れた事を僕は太へんうれしく思ひます。僕達がこの学校を卒業してから後も又大学に進むようになってこの堂々とした講堂の姿は僕達をなぐさめ、はげましじつとみつめてくれる事と思ひます。

まる屋根のおとぎの国の建物のような講堂が、北茂安の緑の野の中に光りがやいています。僕達はこのかが

やきの中から、日本中に次々と、はばたいて行く事ができます。そして僕達みんなが、りつばな人間になる事が市村先生のご恩にむくゆることだと思っています。

市村先生ほんとにありがとうございます。

市村先生ばんざい

北茂安小学校ばんざい。

昭和33年4月29日

北茂安小学校 児童代表

6年 西村 紀夫

(以上原文のまま)

2年

さいしよみちよ

いちむら先生、おげんきですか。わたしはげんきです。このあいだは、りつばなこうどうを、たててください。いまして、ありがとうございます。てんじようも、かべも、すばらしいのでびつくりしました。だれからも「きれいなこうどうね」といつてほめられます。二かい

3年

赤司安幸

市村先生ありがとうございます。おかげでぼくたちの学校にはさがけん一のこうどうがたちました。てつきんコンクリートの二かいだてで中にはでんきがいつぱいついてるしちようどえいがかんのようです。雨がふつてもたいいくができるようになりました。

ぼくはらくせいしきの時、雨がふらないようにまえの日にてるてるぼうずをつくっておきました。くもつていました。雨がふりませんでした。よくじつのしんぶん、えと文が大きいのでついていました。ぼくたちの学校のこう

にあがるとおどりたくなります。かまぼこがたのこうどう、うつてほんとにめずらしいですね。わたしも、このこうどうのように、風にも、雨にも、まけないつよいよい子になりたいとおもっています。いちむら先生、どうぞいつまでもおげんきでいてください。さようなら。

(以上原文のまま)

どう、がのつたのでうれしくてたまりませんでした。ぼくは市村先生のようにえらくなつてちよきんをしてみんなのために日本一のたてものをたててやろうと心の中で思いました。

(以上原文のまま)

4 年
太 田 雅 晴

市村先生はリコーフレックスの社長さんであります。市村先生は北茂安の市原しゅつしんです。学校のことうどうを建てて下さったので4月29日天皇たんじょう日にそのお祝がありました。佐賀県知事や村長さんのほかにえらい方がたくさんこられました。市村先生のおくさんもおいでになりました。市村先生がだんの上におちたになりました。そして世の中のため、人のために、いのちがけではたらくとおつしやいました。それから村長さん、知事さん、校長先生などつぎつぎにお話があつて、生徒だいひょうのお礼のことばがあつた時には、らいひんの方は、ハンカチでなみだをふいていられます。

た。ぼくもうれしくてなきたいような気持ちになりました。屋からぶらくべつに、にわか(仁輪加)がありました。広い運動場に一ぱい人が集つて、とてもにぎわいました。どこを見ようもありませんでしたが、市原の所にたくさん人が集つていたので行つてみたら市村先生がここにこしお話をしておられました。こぎやんうれしかこたななばんたあ(こんなうれしい事はありませんよ)と言われました。みんな手をたたきました。

ぼくたちのこうどうは佐賀県一りつばなものですから一しようけんめいべんきようしなればならないと思います。そしてぼくは市村先生のようにえらい人になろうと考えています。ぼくのいちやんも理けんこうがくにつとめています。このりつばなこうどうを早く見せたいなあと 생각합니다。市村先生ほんとにありがとうございます。

(以上原文のまま)

北茂安小学校の良い子ら百数十名から、市村会長宛、御礼の手紙や、感想文が寄せられてきました。

いづれも甲乙のつけ難い優秀作揃いで思わず微笑まずにはいられぬ、いつわりのない純真な喜びにみち溢れており、次代をなう健康な農村児童の頼しいすがたを髣髴させるものばかりです。できれば全作品を収載したいのですが、紙面のゆるす3篇だけをようやく抽選し得たにとどまりました。残念です。

北茂安小学校児童の皆さん! どうか身心ともにすこやかに育つてく